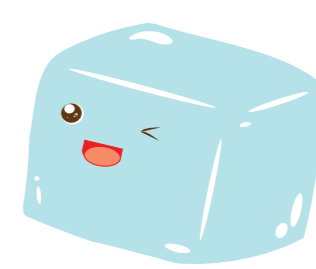




海の氷の大ぼうけん



「海氷」とは、海水がこおった海で見られる氷のことです。
海水が海氷に成長するまでをみてみましょう。



海氷の赤ちゃん
だね！



①氷晶 (Frazil ice)

海水がマイナス 2℃になるとこおりはじめ、海中に結晶けっしょうが生まれます。これが海氷の赤ちゃんの氷晶ひょうしょうです。晶氷しょうひょうともいい、海のダイヤモンドダストとも呼ばれます。大きな海氷もこの結晶からはじまります。

②グリースアイス (Grease ice)

氷晶は海中から次々と浮き上がり、ゆらゆらと動きます。海面はかき氷がとけたようになり、ドロツとしてグリース(油)のようになります。海面の細かいさざ波は消え、波はゆるやかな「うねり」になります。



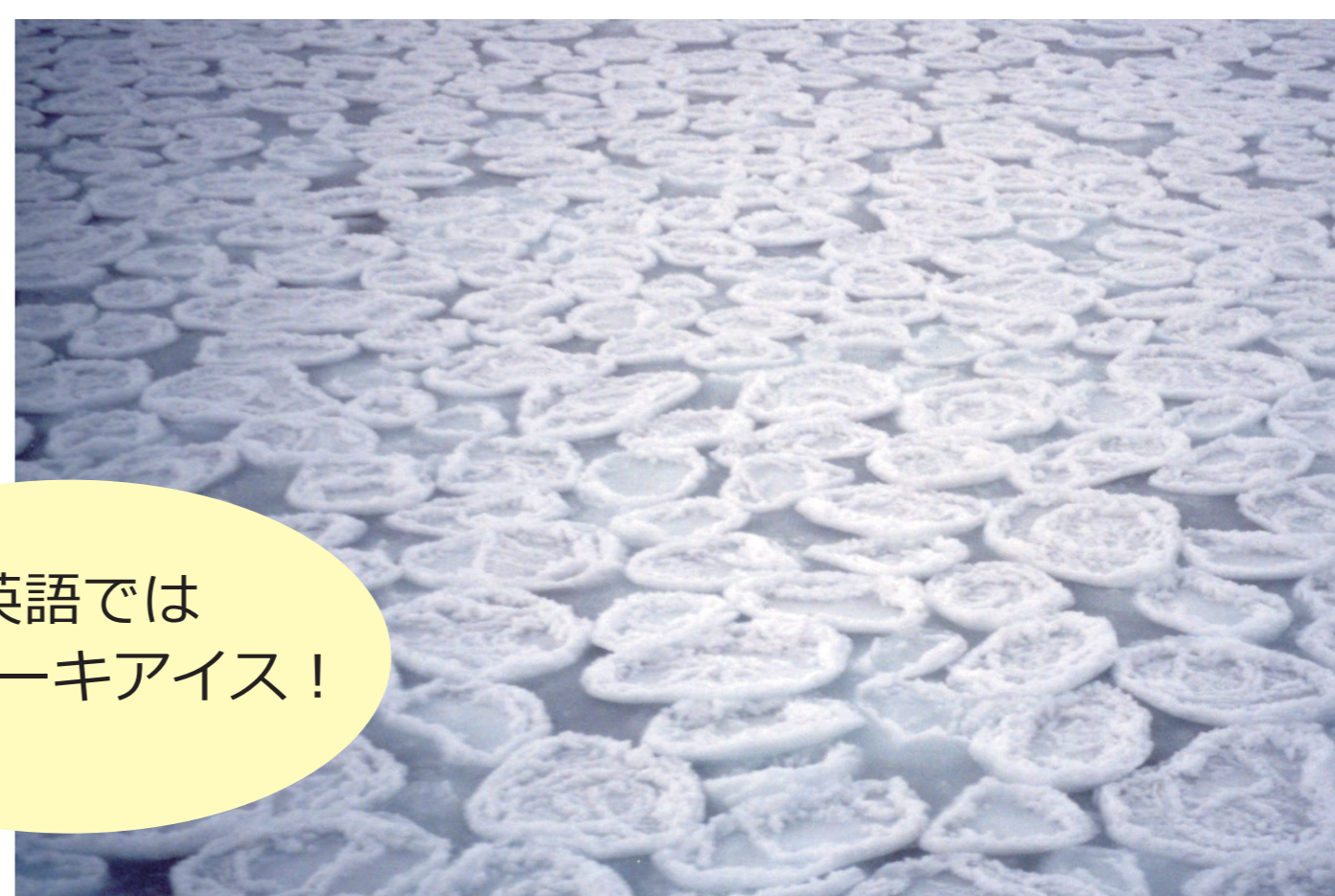
③ニラス (Nilas)

さらに寒さが続くと、うすく弾力のある表面が固い氷だんりょくになります。厚さは 10 cm 未満で、厚さによって明るさがことなり、暗いニラス(厚さ 5 cm 未満)、明るいニラス(厚さ 5 cm 以上)とに分けられます。

④蓮葉氷 (Pancake ice)

板状の氷がぶつかり合って、角がけずられ、ふちがまかれてお盆のような丸い形の氷はすができます。蓮の葉に似ているので「蓮葉氷」と呼ばれます。厚さは約 10 cm。大きさは 30 cm から 3m です。

英語では
パンケーキアイス！



⑤板状軟氷 (Young ice)

厚さが 10~30 cm の板状の氷いたじょう。ニラスから一年氷への途中の段階で、平らな氷です。うすい板状軟氷(10~15 cm)と、厚い板状軟氷(15~30 cm)とに分けられます。



立派な氷だね！

⑥一年氷 (First-year ice)

一冬より長くは経過けいかしない海氷で、厚さ 30 cm ~ 2m。それ以降は古い氷 (Old ice) と呼ばれ、二年氷 (Second-year ice) と二年以上経過した多年氷 (Multi-year ice) とに分けられます。

